科目責任者 天田 悠

■教育目的

われわれは、もはや医療を抜きにして生きていくことはできない。しかし、およそ医療と呼ばれるものは、人の生命や身体・健康と密接に関係するだけに、法とはつねに緊張関係にある。古典的なケースとしては、医師の外科手術や安楽死がそうであり、さらに近年は、尊厳死、治療の中止・差控え、臓器移植、遺伝子治療、クローン技術などをめぐって、さまざまな問題が生じている。法学がこれらの問題にどのように対処していくかは、まさに現在喫緊の課題といえよう。

この授業は、法とは何か、医療と法がどのような関係に立つかを学び、医療を支える法的基盤を形成することを目的とする。

■学習到達目標

1. 法学、特に日本国憲法（付随的に医師法、保健師助産師看護師法および医薬品医療機器等法などの関連法規）に関する基礎知識を習得すること。
2. 法学を学ぶ上で最低限必要な作法を身に着けること。そして以上を前提として、
3. 医療と法に関する重要問題について基本的理解が可能となること。

■準備学習（予習・復習）

予習：特に必要としない（0分）。

復習：授業で配布したレジュメにもう一度目を通し（5分以上）、授業内で触れた内容について自分で調べ、考えてみる（10分以上）。

■授業内容

基本的人権を中心としつつ、まず日本国憲法の解釈論を中心に学ぶ（No.1～8）。その後、医療をめぐる法的諸問題（医療事故、終末期医療、医薬品の臨床試験など）を取り上げる（No.9～14）。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	オリエンテーション・法学入門	授業の概要、成績評価方法、教科書・参考書についての説明／法律学を学ぶ意義	
2	憲法（1）：日本国憲法総論	憲法を学ぶ意義、憲法の分類、憲法の基本原理	
3	憲法（2）：日本国憲法の制定	明治憲法の制定、現行憲法の制定	
4	憲法（3）：国民主権	明治憲法の天皇制と日本国憲法の天皇制、日本国憲法下の「象徴」天皇制	
5	憲法（4）：平和主義	憲法9条の内容、憲法9条の読み方	
6	憲法（5）：基本的人権・総説	基本的人権・総説、憲法13条の解釈、新しい人権——特にプライバシー権について	
7	憲法（6）：法の下での平等・その1	日本国憲法の平等条項、平等原則の派生問題——出生前診断をめぐる	
8	憲法（7）：法の下での平等・その2	出生前診断の法的問題点、尊属殺人重罰規定にみる「命の重さ」	
9	医事法（1）：医事法入門	医事法の体系、医事法の基本的視点、薬剤師と法	
10	医事法（2）：医療事故と法	医療事故の法的責任、医療事故の法的構造、医療事故を防ぐために——「人は誰でも間違える」	
11	医事法（3）：終末期医療と法	終末期医療をめぐる法的状況、終末期医療のルール化に向けた動きとその論点	
12	医事法（4）：医薬品と法	医薬品・医療機器に対する法規制、医薬品等の法的取扱い、医薬品に起因する事故の救済	
13	医事法（5）：医学研究と法	医学研究の一般原則、人を対象とする医学研究の法的・倫理的ルール、臨床試験の諸問題	
14	医事法（6）：医療と法・倫理	医療と法の関わり、現代における法的・倫理的諸問題、「医療・法・倫理」の行方と展望	
15	まとめ		

■授業分担者

天田 悠（No.1～15）

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

- 1 課題（レポート、試験等）のフィードバック

- ・講義中に挙手をしてもらったり意見を求めたりするなどして、随時質問に応じる。
 - ・講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明を行う。
- 2 成績評価方法
- ・期末試験の成績（100％）で評価する。

■ 教科書

特に指定しない。毎回の授業でレジュメや参考資料を配布する。

■ 参考書

- 『ブリッジブック法学入門〔第2版〕』 南野 森（みなみの しげる）編 信山社
『ブリッジブック医事法〔第2版〕』 甲斐 克則（かい かつのり）編 信山社 * 2018 年春刊行予定
その他、必要に応じて教場で指示する。